

2026

台湾ロボットとフィジカル

AI

イノベーションフォーラム

海外向けオンライン投資誘致説明会

5.8  臺北時間 GMT+8
午後 13:30-14:55

日本時間 JST/GMT+9
午後 14:30-15:55

イベントの主軸

台湾と日本のロボット産業とフィジカルAI産業の融合を切り口として、Edge AI、センシング技術、サービスロボットの応用などのテーマを通じて、台湾が有すAIシステム整合能力、半導体産業及びサプライチェーンの強みを示すことで、日本の関連企業が台湾との産業連携の深化と長期的な事業展開を検討するための起点とします。

イベントの紹介

人工知能の急速な発展に伴い、ロボット産業はこれまでの「従来型の自動化設備」から、「感知と意思決定能力を備えたフィジカルAI(Physical AI)」へと重要な転換期を迎えています。国際調査研究機関 Precedence Research の最新データによると、世界のAIロボット市場は現在急速な成長段階にあり、2025年の市場規模はすでに205.1億ドルに達し、今年(2026年)には247.1億ドルに拡大見込みです。さらに2034年には1,242億ドルを突破すると予測しており、これは先進的なセンシング技術とエッジコンピューティングを融合したスマートロボットが、世界の産業高度化を牽引する重要な原動力になることを示しています。

今回の海外向けオンラインフォーラムは、国際企業と台湾のロボット産業との提携促進を目的としています。台湾は長年にわたり蓄積してきた精密機械産業の基盤や柔軟性の高い製造クラスターを基に、半導体製造や産業用PC(IPC)ハードウェアサプライチェーンの強みを結び付けて、包括的なフィジカルAI供給チェーンの構築を加速しています。

さらに研究開発能力をロボット関連の重要部品やモジュール化アーティクチャの開発にも注力し、ロボットの視触覚センサー、スマート工場向け意思決定、サービスロボットの実装などの分野でEdge AI技術を積極的に導入しています。

本イベントを通じて、世界のロボット分野をリードする企業を台湾に呼び込み、台湾を中心としてアジアのスマート自動化市場を共同で開拓し、高付加価値の国際協力ビジネス機会を創出できるように希望しています。



開催形式と言語

オンライン会議、イベントは中国語で進行し、日本語通訳付きで行われます。
会議参加用リンクは、お申し込み完了後にE-mailで送付いたします。

参加申込サイト

<https://forms.gle/oTLRvG6NVca79tDu8>



イベントプログラム

臺北時間 (GMT+8)	日本時間 (JST,GMT+9)	
13:30 -13:40	14:30 -14:40	開会挨拶・来賓挨拶 司会：工業技術研究院機械所 官振鵬 博士 経済部長官
13:40 -14:05	14:40 -15:05	テーマ(一)産業事例紹介 エッジAIによるスマートロボットの産業応用 研華科技(Advantech) / 張達文 副総経理
14:05 -14:30	15:05 -15:30	テーマ(二) 産業技術 ロボットとフィジカル世界の融合： ロボット触覚センサーと中核センシング技術の産業化動向 原見精機 / 劉昌和 総経理
14:30 -14:55	15:30 -15:55	テーマ(三) 応用展開 AIロボットがサービス産業を変革する方法： モジュール化アーキテクチャとビジネス応用の拡大 季河資訊 / 蘇正榮 総経理
14:55 -	15:55 -	総合ディスカッション／海外企業のニーズと投資機会の意見交換